

精神科に特化した訪問看護ステーション「デューン富士吉田」 3月1日 富士吉田市に開設 地域に根差した生活をトータルサポート

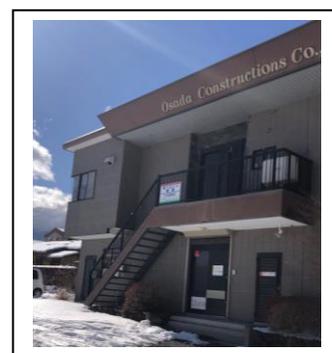
精神科に特化した訪問看護事業・精神疾患を持つ人の住宅支援事業を展開する株式会社N・フィールド(本社:大阪府大阪市/代表取締役社長:森本 立成/以下、当社)は、2024年3月1日に、富士吉田市竜ヶ丘に「訪問看護ステーション デューン富士吉田」を開設することをお知らせします。

【開設拠点の簡単な紹介】

2016年8月に山梨県内1事業所目となるデューン甲府を甲府市に開設後、2事業所目となるステーションを同県内の富士吉田市に開設する事で、山梨県内でより精神科領域の訪問看護を強化することが可能になります。

【デューン富士吉田 所長・部長の一言】

所長:訪問看護ステーションデューン富士吉田所長の小林です。
当ステーションは精神科に特化した訪問看護のサービスを行っています。
精神疾患を有する利用者様が地域で安定した生活を送ることが出来るように訪問看護を通して利用者様をサポートしていきたいと考えております。
富士吉田市や近隣地域の精神科医療の充実を目指し邁進して参ります。



部長:甲信エリア部長 佐藤です。

2024年3月、富士山の麓のまち富士吉田市に新たな事業所『デューン富士吉田』を開設致します。
精神科に特化した訪問看護ステーションであり、ご利用者様とご家族が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう支援して参ります。 弊社は多職種連携を強みとしており、看護師が心身のケア・作業療法士が生活能力のアセスメント・精神保健福祉士が生活環境の調整をし・住宅支援部が入居のサポートから入居後のトラブル対応まで支援を行います。
利用者様が地域で自分らしい生活を送るため、各専門職が得意分野を中心にサポートを行います。
個別性を重視した対応を心がけることで、利用者様の持っている力を見極め、各種社会資源を活用しながら自立した生活が送れるようになることを目指します。
今までの経験を活かし一人ひとりに深く寄り添い日常を支える支援をしたいという強い想いを持つスタッフを中心に、地域から信頼される訪問看護ステーションになれるよう精進して参ります。

【今後の展望】

精神疾患患者は年々増加しており、その数は600万人を超えています。精神病床の平均在院日数は9カ月ほどあり、ほかの病床と比べて早期退院が課題となっているのが現状です。退院後の6割以上の行先が家庭であり、在宅医療の担い手として精神科訪問看護は重要な役割を担っています。N・フィールドは精神科に特化した訪問看護の会社として唯一、全国47都道府県で拠点を開設しており、全国226拠点(※1)を展開しております。
精神科在宅医療における地域の受け皿として今後も拠点の開設を予定しています。デューン富士吉田は、地域の課題解決のために弊社の専門性を発揮し地域医療の一端を担うことができるよう尽力し、地域の関係機関と連携を密にし、精神疾患をお持ちの利用者様が地域生活を円滑に送れるよう取り組みます。
精神保健分野におけるプロ集団として、すべての人々が寄り添い・共に支え合う地域社会を実現するため、日々邁進していく所存です。

